



一般社団法人 日本感染症対策協会認定

リリーフシールド

抗ウイルス・除菌・抗菌ガラスコーティング リリーフシールドのご提案

ご利用者様向け



一般社団法人日本感染症対策協会
Japan Infectious Disease Measures Association

課題

『店舗』『オフィス』『病院』『施設』など、人がたくさん集まる場所は飛沫感染、接触感染のリスクが高いため、継続的な消毒や衛生対策が重要です。マスク着用は一般的になりましたが、個人の手洗い、小まめな消毒に頼るだけでは、接触感染の対策としては安心できないのが実情です（蛇口からの感染例等あり P3）



対策

リリーフシールドを施工することで、手が触れる箇所のウイルス・菌を減らしましょう。

リリーフシールドは、手が触れやすい箇所『ドアノブ』や『共有PC』『トイレ』など、重点箇所をピンポイントで施工可能です！



具体的な施工箇所例

依然、猛威を振るっている突発性ウイルスですが、十分に気を付けている施設や店舗などでもクラスター等が発生。



ウイルスが徐々に解明される毎に、ドアノブや蛇口以外にも様々な箇所の接触感染が増えており、常に未然防止策に追われております。

マスクの徹底など、飛沫感染対策も大切ですが、手すりや蛇口、ドアノブ、また共有PCやタブレットなど、人が触れる箇所の『菌・ウイルスを減らす』ことが重要なポイントとなります。

日本感染症対策協会認定
エビデンスが取得されている。



一般社団法人 日本感染症対策協会認定
リリースシールド を推奨します!



フロアの施工箇所

テーブル

椅子

PC類



トイレ・洗面台周りの施工箇所

スイッチ類

フタ

レバー

トイレの壁面

ペーパーホルダ

ドアノブ

便座

蛇口



【独自】大江戸線運転士の集団感染、 「盲点」だった共用洗面所の蛇口

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fb77e11e286a81d9ac9fd7955471d38879a40ac7>

読売新聞オンライン

2021/1/14

新型コロナウイルスの感染拡大は、公共交通機関の運行にも影響する。東京では、都営地下鉄大江戸線の運転士が集団で感染し、年末年始の約2週間、間引き運行となった。感染が広がる要因の一つになったとみられるのは、運転士の宿直施設にある洗面所の蛇口だ。鉄道の運転士は交代要員の確保が難しく、鉄道各社は対策強化を検討している。（佐藤果林、山下智寛）



(写真：読売新聞)

■本数削減

都営大江戸線は、新宿や六本木など東京の中心部を結ぶ路線だ。一部は23区北西部の練馬区にも延びる。2019年度は、1日に約98万人が利用した。

運転士の感染が最初にわかったのは、昨年12月15日だ。それから次々に感染者が判明し、今月4日までに38人上った。大江戸線に乗務する運転士の2割に当たり、感染者との濃厚接触者となった運転士ら4人も出勤できなくなった。このため大江戸線は、昨年12月27日から1月11日にかけて、運行本数を普段の7割程度に抑える運行体制となった。

◆共用の洗面所から感染が広がった(推定)

- 1 宿直する運転士が共用の洗面所で歯磨き
- 2 唾液が付着した手で洗面所の蛇口に触れる
- 3 蛇口を介して多数に感染拡大が引き起こされる



都交通局などによると、38人はいずれも江東区内の庁舎で始発などに備え、宿直していた。寝室は個室で、リネン類も毎日交換されていたが、洗面所や浴室、台所は共用で、同時に複数人が利用することもあった。

12月の保健所の現地調査で、感染を広げたと推定されたのは洗面所の蛇口だった。手で回して水を出すタイプで、歯磨きの際に唾液が付着した手で触れるなどし、ウイルスが付着した可能性が高いと指摘された。

これを受け、都交通局は都営地下鉄各線の運転士に、洗面所の蛇口は紙で覆って触れることや、使用後の手指消毒などを指示。手を近づけるだけで水の出るセンサー式蛇口への変更も今後、検討するという。

始発に乗務する鉄道の運転士の多くは前夜から宿泊する。大江戸線の場合、月に5、6回だ。都交通局は、他の鉄道各社にも注意を促すため、情報提供を始めた。

なぜいま「接触感染対策」が重要なのか？

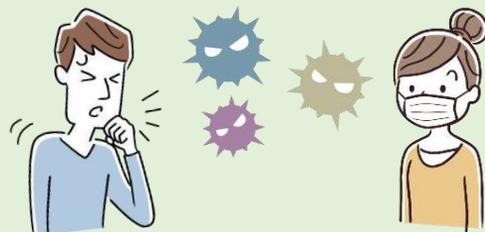
突発性ウイルスの主な感染経路は **飛沫感染** と **接触感染**

マスクの着用や換気などは、認知度も高くみなさんが注意していますが、
接触感染の元となる『**タブレット**』や『**ドアノブ**』『**スイッチ**』など

人が頻繁に触れる接触感染の原因箇所の対策は、まだまだされていない事が多いのが現状です。

飛沫感染 対策

長時間空気中を
浮遊しているウイルスの対策！



マスクの着用

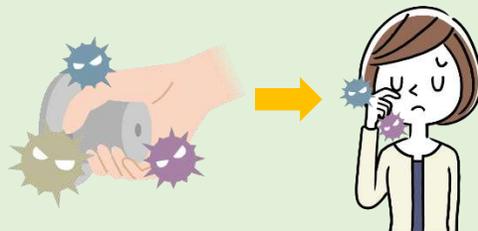
三密を避ける環境

透明パーティション
等の設置

換気と空気清浄

接触感染 対策

手についた菌が、
何気なく目を擦った時などに感染



人が触れる場所に対しての
抗ウイルス・抗除菌施工



こまめな手洗い

定期的な消毒

「リリーフシールド」とは？

美観を維持しながら長寿命化させる次世代型液体ナノガラス塗料に
「抗ウイルス・除菌・抗菌」機能を配合して誕生

美観を維持しながら長寿命化させる 次世代型液体ナノガラス塗料です！

従来の石油系塗料と異なり珪素（シリカ）が
主成分のため、水への有害物資の溶けだしや燃焼時の
有毒ガスの発生がない。

石油系に比べて高硬度を実現

剥離しづらいガラス質なので長寿命

粒子が細かく撥水するため錆びづらい

更に進化！

抗ウイルス・除菌・抗菌 成分を追加！

第四アンモニウム塩系成分を
対策成分として配合。

ウイルスA（突発性ウイルス・
エンベロープあり）や、
ウイルスB（季節性ウイルス・
エンベロープなし）での
有効性が実証。



一般社団法人 日本感染症対策協会認定

リリーフシールド 誕生

※塗料については『【追加資料】AQSHIELD（塗料）について』を参照

抗除菌・抗ウイルス機能付きの液体ガラス塗料 「リリーフシールド」は数々の理想を実現！

1

抗除菌機能付きで、付着済みの菌を取り除いて抗菌できる

2

無機質の耐久性と有機質の即効性を両方を兼ね備えた万能型

3

1回の施工で最大**10**年間効果が持続！ お手入れの手間が最小限に！

※塗膜が剥離しない限り効果が持続します。

ただし、強い紫外線が照射される場所では、5年の程度の効果となる場合がございます。

4

手が触れる部分のみをピンポイントでコーティングもOK。

ドアノブ、電気のスイッチなど、対策箇所を絞った施工が可能



一般社団法人日本感染症対策協会（JIDMA）とは？

新型コロナウイルスを中心とした感染症の発生および蔓延の防止のために有効な商品やサービス、対処法にかかる情報を正しく発信し、我が国における感染症対策の向上及び増進に貢献することを目的とした協会です。

協会の主な活動内容

新型コロナウイルス対策の支援

感染症対策に関する
情報交流の場の提供

感染症対策に役立つ
製品やサービスへの支援



リリースシールドは、ウイルスA（突発性ウイルス：エンベロップあり）や、ウイルスB（季節性ウイルス：エンベロップなし）に対する有効性を第3者機関の実証実験で証明されたことで、日本感染症対策協会の認定マークを取得しました。



「リリーフシールド」施工の流れ

作業は即日完了・営業を止めることなく施工可能です

Step1

テスト塗布

リリーフシールドは、ほとんどの基材に**単独塗布1回で問題ありません。**しかし基材の状態、気温・湿度などを見て、必要があれば吸込防止剤で下処理します。



Step2

リリーフシールド塗布

ガラスコート専用スポンジ、マイクロクロスファイバー等を使用して、リリーフシールドを塗布。噴霧よりも、よりしっかりと密着させることが可能です。



Step3

安定

常温乾燥にて、ガラス質に硬化します。営業を止めることなく施工可能です。



※フロアの壁面を施工する場合は、数時間乾燥させる必要があります。

ドアノブ、手すり、タッチパネル、タブレット、電気のスイッチ…
感染のきっかけになりそうな手が触れる箇所のみ
ピンポイントにコーティングする事が可能です！



まずは、手が触れることの多い箇所の除菌・抗菌からはじめましょう。



今市場に出回っている光触媒系の施工は、室内や車内をまるまる
対策する技術の為、上記のようなピンポイント対策が苦手です！

▶ リリースシールドであれば
ピンポイント対応が可能です！

医療機関、鉄道、公共施設のトイレをはじめ

ウイルスの抗除菌のみならず、汚れ防止、消臭効果など喜びの声続々



病院／福祉施設／老人施設／商業施設／飲食店／フードコート／スポーツジム／保育園／幼稚園
学校／店舗／事務所／工場／駅／電車バス車内／タクシー／高速道路サービス施設など

ドール本社様

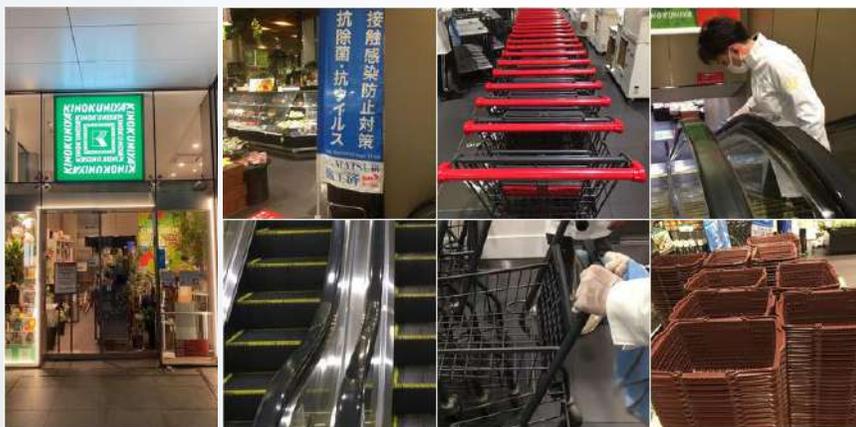
エレベーター内パネル、椅子、電話機、ドアノブ等
人の手が触れる場所に施工。



1階受付	受付カウンター	1面
	来客用ボールペン	1式
	カバー	1個
	待合椅子	4脚
1階その他	通用口パネル	2ヶ所
	通用口ドアノブ	4ヶ所
	非常口扉ノブ	2ヶ所
3階一般応接	表札	17ヶ所
	電気スイッチ	17ヶ所
	ドアノブ	34ヶ所
3階特別応接	電話機	3台
	椅子	18脚
	エアコン操作パネル	3ヶ所
3階その他	社員通用口扉ノブ	2ヶ所
8階休憩室	出入口ドアノブ	2か所
	喫煙所扉ノブ	2か所
備品	配膳トレイ	15枚
エレベーター	中操作パネル	2基
	外操作パネル	9ヶ所

紀ノ国屋インターナショナル青山店様

接触感染対策の一環として
買い物かご、カート、エスカレーター等
お客様の手が触れる場所に施工。



カゴ	500個
カート	110台
エスカレーター	110m
作業員	5名体制/約5時間

スーパーオオゼキ池上店様

接触感染対策の一環として
トイレ周り（便座、ドアノブ、洗面台）、
POSレジ、ショッピングカートに施工。



カゴ	798個	カート	111台
トイレ周り	19ヶ所	POSレジ	9台
作業員	5名体制/約10時間		

リリーフシールドを施工後、施工証明書およびステッカーをお渡しし、ユーザに向けPRする事が可能となります。

施工会社よりお渡しします

リリーフシールド
施工ステッカー



施工後、5～10枚程度をお渡しします。
施工箇所に貼る事が可能です。

後日、日本感染症対策協会より配送

施工証明書



ウイルス対策 PRステッカー & 対策紹介 WEBページ



QRコードでWEBページへ誘導



対策責任者の明記、



店舗独自の対策、
または具体的な対策内容を掲載。

などを掲載



エビデンス

ウイルスA（突発性ウイルス、エンベロップあり）への有効性を実証

リリーフシールドは、ISO21702試験において、

「ウイルスA（突発性ウイルス、エンベロップあり）」への有効性が実証されました。

検体		ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数値 (注2)			抗ウイルス 活性値 【R】 (注3)
		常用対数値	常用対数値 平均値		
未加工品 (注1)	接種直後 【Uo】	n1	5.52	5.53	
		n2	5.52		
		n3	5.55		
	24時間 放置後 【Ut】	n1	5.04	5.04	
		n2	5.03		
		n3	5.06		
当協会 抗菌抗ウイルス 塗料 (加工品)	24時間 放置後 【At】	n1	< 1.80	< 1.80	≥ 3.2
		n2	< 1.80		
		n3	< 1.80		

試験機関：一般財団法人日本繊維製品品質技術センター

試験ウイルス：ウイルスA（突発性ウイルス、エンベロップあり、国立感染研究所より分与）

試験ウイルス懸濁液濃度：1.2×10の7乗 PFU/ml

感染価減少率
99.93%
以上

注1：対照試料として当協会抗菌抗ウイルス塗料の未加工品を用いた。

注2：PFU：plaque forming units

注3：抗ウイルス活性値 R=Ut-At

ウイルスB（季節性ウイルス、エンベロープなし）への有効性を実証

リリースシールドは、

「ウイルスB（季節性ウイルス、エンベロープなし）」への有効性が実証されました。

検体		ウイルス感染価 (PFU/cm ²) 常用対数値 (注2)	抗ウイルス 活性値 【R】 (注3)
		常用対数値 平均値	
未加工 ガラス板 (注1)	接種直後 【Uo】	6.47	
	24時間 放置後 【Ut】	4.11	
当協会抗菌抗ウイルス 塗料 (加工品)	24時間 放置後 【At】	< 2.00	2.11

試験機関：一般財団法人日本繊維製品品質技術センター

試験ウイルス：ウイルスB（季節性ウイルス、エンベロープなし）

洗い出し液：Fetal Bovine Serum を終濃度 10 % になるように添加した SCDLP 培地

密着フィルム：ポリエチレン（4cm × 4cm）

感染価減少率

99.22%
以上

注1：対照試料として当協会抗菌抗ウイルス塗料の未加工ガラス板を用いた。

注2：PFU：plaque forming units

注3：抗ウイルス活性値 R=Ut-At

硬化後の塗膜の安全性を実証

リリースシールドは、**硬化後の塗膜の安全性が実証されました。**

検査項目	検査結果	検出方法	備考
ガラス製、陶磁器製又は ハウロウ引き規格試験			1
カドミウム	適	1	
鉛	適	1	

試験機関：公益財団法人日本食品衛生協会

検査方法 1：食品添加物等の規格基準・器具又は容器包装の規格基準（昭和34年12月28日 厚生省告示第370号）

備考1：ガラス規格試験：液体を満たすことができない又は深さ2.5cm未満

協会概要

名称	一般社団法人 日本感染症対策協会 Japan Infectious Disease Measures Association	 一般社団法人日本感染症協会 Japan Infectious Disease Measures Association
設立	2020年5月6日	
理事	北里 伸郎	
本部所在地	〒150-0011 東京都渋谷区東3-12-12	
URL	https://www.kantaikyo.or.jp/	

組織図

